

令和2年度 摂津市立千里丘小学校 第3回 学校協議会 要点録

日時：令和2年9月24日（木）18時30分～

場所：摂津市立千里丘小学校 会議室

記録：田中健一郎（事務局 教頭）

出席委員 中田 康之、以登田 毅、佐野 英和、青木 みゆき、寺田 洋子、土田 亜美、坂本 加代子
木下 さひ子、藤浦 清美
学校出席者 校長 撰田 裕美、教頭 田中健一郎

1. 校長あいさつ

第3回学校協議会へのご出席に感謝いたします。本日もご意見賜りますようよろしくお願いします。

2. 報告

- 7月15日（水） 国語校内研究 成蹊大学の辻村教授にご来校いただき、研修を行った。今国語科で何を教えるのか、子どもたちにはどんな力をつけなければいけないのかということを学んだ。
- 7月17日（金） 青少年対策連絡会
三中校区の各小中学校校長、摂津高校、青少年指導員、保護司などが参加。
第三中のプールの横の交差点、以前は非常に危険個所だったが改善した。しかし、交差点近くの堤防のところには信号がない。朝には自転車、歩行者が多くわたり危険。いつ事故が起こるかわからない状況にある。この危険性はこの連絡会でこれまでも話題になっている。
- 7月20日（月） 三中校区不登校ワーキング
千里丘小学校は不登校ゼロ。だが、中学校にあがってから不登校になる子もいる。
特に千里丘小出身の児童は中学校の通学路が遠い。生徒の人数比も三宅柳田と比べると少ないということから課題が見えてくる。小中学校が連携することで改善を図っていくことが目的。
- 7月22日（水） 人権教育校内研修
子どもたちのつながりをどのようにして作っていくのか、クラス経営における研修を行った。
- 7月27日（月）～個人懇談
- 8月4日（火） メンター研修
5年目くらいまでの経験職員を対象に行っている。
コーディネーター研修
勤務校が2校目、3校目の職員を対象に行っている。
- 8月6日（木） 1学期終業式
式だけでなく授業を行った。平和に関する授業も行った。
- 8月18日（火） 2学期始業式
この週、翌週にかけて非常に暑かった。始業式の次の日の19日から6時間授業を行った。
- 8月25日（火） 幼少交流
これまでは就学前の園児が1年の教室に訪問をしていたが。コロナ感染症予防のため園の先生のみが授業見学。

- 8月27日(木) 内科検診 学校医と懇談
千里丘小の子どもを見て総体的に、アトピーがひどい子がなく、皮膚もきれいな子が多かった。特に気になる児童もいないという所見であった。
- 8月31日(月) コーディネーター研修
- 9月3日(木) 教育実習生受け入れ
本校の卒業生大学3回生。
- 9月4日(金) 青少年対策連絡会
新型コロナ緊急事態宣言から後、市内全体で不審者が多いという情報。
- 9月4日(金) 修学旅行保護者説明会
- 9月7日(月) 林間学校保護者説明会
- 9月8日(火) 指導案研究(説明文) 3～6年 大阪成蹊大学、辻村教授による
参加した教員は指導助言していただいたことがことで、とても勉強になった、とても有意義であった、との感想。
- 9月9日(水) 三中校区アセスメント研修会
大学教授を講師に招き研修を行う。三中校区全体で行ったことは評価できる。
- 9月11日(木) 大阪府教育庁「ともに学び・育つ」学校づくり支援事業
自立活動についての研究・実践。大学教授、府より指導主事が指導助言。
府が本校の実践例をもとにガイドラインを作り、府内全体に広めることが目的。
メンター研修の実施
- 9月14日(月) 指導案研究(説明文) 1・2年(大阪成蹊大学 辻村教授)
- 9月16日(水) 避難訓練(風水害)
密を避けるため各教室に地区ごとに集まった後、集団下校をした。

2. 協議

宿泊行事について

(校長) 摂津市の考えとして、熱中症及び感染症対策を行い実施の方向と示されている。茨木市、豊中市、東大阪市は中止としたという情報もいただいている。

学校医は、今の状況が宿泊行事ができないということではない。予防対策は大事であるという意見。
学校の判断としては、

1. 宿舎及び関係者等の感染症予防対策の徹底 新幹線も1号車を予約した。
2. 児童の健康管理・予防対策の徹底
3. 感染者数の状況の推移
4. 大阪府内の感染者数 PCR検査数、PCR検査陽性率から
総合的に判断し、宿泊行事を実施することとした。

〔意見交換〕

(委員) 人と人との間では、リモートではできない部分で養いたいことがあるが、宿泊行事では生活を共にする中で身につけられることがある。行ける状況であれば、実施した方がよい。

(委員) 子どもたちは行きたいし、宿泊先も来てほしいと思う。きちんと対策を立てて行けば安心できる。

(委員) 校医の言うように、広島に行くから感染するとは考えにくい。いい経験をさせてあげることが大切。

- (委員) 子どもたちは楽しみにしてるから行かせてあげられたらよいと思う。
- (委員) 校医の言うように、行くから感染するものではないだろうから、行かせてあげたい。
- (委員) 宿泊先も学校に合わせてくれているので、安心できる。
- (委員) マスクしていても、予防にはうがいと手洗いが必要であろう。
そういうことも一緒に子どもたちに伝えて、子どもたちができるようにしてあげることが大切。食べるものにも気を付けて、しっかり寝て、を教えてあげることも。
- (委員) プログラムもゆとりを持って取り組めたら。次のプログラムに移る前には手洗いの時間を取るなどしていけば大丈夫ではないか。
- (委員) 子どもたちにとっては一生の思い出になる。行く方向になったことが良かった。
消毒のスプレーなどは持っていくのですか。
- (校長) 学校から持っていくが、施設などにも設置していると聞いている。

人材育成について

- (校長) 今年の学校経営の柱の一つとして人材育成をあげており、毎月メンター研修・コーディネーター研修を実施している。

① メンター研修

経験年数が少ない教員対象テーマとしては、「個人懇談」「教室環境」「行事の取り組み方を考える学級経営」「服務」など。ちょっと上の先輩の話から学ぶ機会となっている。また、他のクラスを参観することで、アイデアを得る機会となっている。先輩教員は失敗したことを伝えることで、話しやすい雰囲気づくりを意識して作っている。

〔意見交換〕

- (委員) 普通の企業でしたら2、3か月新人研修、その後は先輩について1年間研修のシステムがあるのが普通。学校はそのシステムがなくて、4月からすぐに担任としてですから。大変ですね。
- (委員) 実際に働いてみると、大学では習わないことがいっぱいありますものね。
- (委員) すぐに担任となると、若い先生もやりにくいですね。
- (委員) オンザジョブトレーニングいいですね。職場でちょっと上の人の真似はしようと思える。昔はストーブの周りに集まって、井戸端会議などをしていたが。今は研修会として位置付けてしていることがとても良いと思う。

② コーディネーター研修

- (校長) 中堅教員対象。ベテランと呼ばれる教員でも法的根拠などを知らないことが多い。テーマとしては、「服務」「学校とは」「研修」「関係法令」「公文書」「教育のながれ」「摂津の教育」など。メンター研修と同じテーマであっても、法的な根拠について知る、これまでなんとなくしていたことについて知る、ことに重きをおいて実施。
- (委員) 教師はほかの仕事に比べると特殊。その分、人それぞれの個性が強く出てくる。教えられたことを一度自分で考えて施行した方がよい。マニュアルではなく、自分で考える力が大切。
- (校長) 若い人はすぐにスマホで調べたりしています。クラスで困ったことは、インターネットのどこに書

いているのか、と聞いてくる若い人もいます。

(委員) 地域の教材づくりの時など、法律についても調べながら取り組むが自分で調べないのだろうかと思う。コーディネーター研修などは自分の裁量がわかってくるので有意義な研修ではないか。

(校長) 次のコーディネーター研修では、お金をテーマに行いたい。教師はお金の感覚に疎い。他にも学級経営など、このテーマをしたらよいということは多岐にわたる。

(委員) 先生は大変である。一般の会社員は3, 4年である程度個性が出てくる。その後、適材適所となる。トータル的な人を創るのは本当に大変であろう。

(委員) SNSには答えはないということからスタートしないといけませんね。風通しの良い先生の関係を作っていないと。こういう研修は手立てがあるということがいいと思う。

(校長) 感覚をどのように磨いていくか、が難しいです。

(委員) 今のちょっとおかしいんとちがう、と思える風土を醸成しておくことが大切。変なことを変と言える。先生同士もお互いが認め合える。違和感を感じることができなければ、子どものことも気づいてあげられないのでは。そのためには、先生たちの間でちょっと相談にのってと言える。顔をあわせて気楽に話ができることが必要。管理職の先生は先生たちの変化を気づく、そのようなことを繰り返していくことが大切。

(委員) 相談することで荷が軽くなります。

(その他)

(校長) その他何かご意見はありませんか

(委員) 明和池公園前の横断歩道がとても危険である。車が横断歩道の前で停止しない。夜間は人がいるのかよく見えない。車のスピードも出ている。

(委員) 夕方によく公園にいくが、車の交通量が多い。市役所にも相談の電話をかけているが、なかなか動いてくれない。

(委員) 以前、市会議員、国会議員を呼んで話をしたことがあるが、その時からずっと検討中である。

(委員) 同じ状況のところはあるだろうが、公園の前ということが問題。

(委員) 言い続けないとなかなか変わらない。信号をつけてもらうことも10年以上かかった。周りの人を巻き込みながら言い続けないと変わらない。

(委員) 行政が動かないということも問題だが、自分の身は自分で守るという意識も必要か。学校でも危険個所の啓発をしていただきたい。

(校長) 今回の学校協議会では、学校自己診断アンケートの質問項目についてご意見をお聞かせいただきたい。その意見をもとにアンケートを作成し、その回収結果を12月にお伝えできればと思う。

1月にはまとめとして、皆様に評価をいただきたいと思う。

次回、11月16日(金) 18時30分～ 第4回学校協議会